

18生産第825号
平成18年5月8日

各地方農政局長
北海道知事
沖縄総合事務局長

} あて

(農林水産省) 生産局長

施設園芸等の生産現場における省エネルギーに向けた取組強化について

原油価格が昨年から大幅に上昇し、史上最高値を更新している中で、施設園芸の暖房機等の主な燃料であるA重油においても価格が高値で推移すると予想されることから、施設園芸においては、より一層の省エネルギーに向けた取組強化がますます必要となってきた。

また、灯油、軽油及び農業用ビニール等他の石油関連資材についても、A重油と同様、価格上昇による農業経営等への影響が懸念される。

ついては、今後、施設園芸農家等において次期作のための資材調達や施設整備の準備が行われる時期を控えていること等から、生産現場等において「平成18年農業生産の技術指導について」（平成18年4月21日付け18企第19号農林水産大臣官房技術総括審議官通知）に基づき、省エネルギーの取組が適切に行われるよう、貴局管内の各都府県に対し指導の徹底を図るとともに、特に下記の事項について、生産現場等への周知徹底を図られたい。

記

- 1 施設内で次期作付を開始する前に、A重油及び農業用ビニール等石油関連資材の最近の価格動向の把握及びそれに基づくコスト分析を行い、現行の栽培方法及び施設装備による経営収支を確認する。その上で、収益性確保等の観点から現行の栽培方法及び施設装備を見直す場合には、原油価格上昇の影響をできるだけ緩和するよう、省エネルギーに適した品種・作型への転換や代替エネルギーの導入の可否も含め、技術的・経営的に持続性の高い省エネルギー型の施設園芸の導入を検討する。
- 2 施設園芸用暖房機を更新する場合は、既存機種に比べてエネルギー消費削減効果の高い機種を導入すること。なお、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)により施設園芸用高効率暖房機の更新に対する補助措置(平成18年度エ

エネルギー使用合理化事業者支援事業）が講じられているが、その公募期限が本年5月31日までとなっていることから、同事業を活用する場合は、十分な時間的余裕をもって手続きを進めるよう留意する。

3 加温開始前に、以下の点に留意して暖房機器の点検整備を徹底する。

- (1) 暖房機器のバーナノズルの燃焼カス（スス等）等による汚れは、燃料と空気の正常な混合を阻害し、完全燃焼を妨げるので、適切な清掃を実施する。
- (2) 暖房機器の燃焼室内に燃料カスが付着すると、効率的な熱交換が妨げられ、結果として燃焼効率の低下を招くこととなるので、加温が必要となる時期を十分に勘案しつつ、事前に燃焼室内の掃除に努める。

4 営農開始前に、以下の点に留意して温室内の環境の改善に努める。

- (1) 温室内の保温対策を実施することは、加温用燃料の節減を図る上で最も効果的な対策の一つであることから、営農開始前に、
 - ① 周壁部や谷部など被覆の隙間（つなぎ目等）の点検・補修による気密性の向上
 - ② 二重、三重被覆資材や保温性の高い内張資材の導入による保温性の向上
 - ③ 夜間の変温管理ができる多段式サーモ装置等の設置等の対策の実施に努める。
- (2) 温室内の温度ムラは、局所的な低温部の温度確保のために余分な燃料を消費することとなることから、
 - ① 温風ダクトの配置やダクト吹き出し口の風量調整等の適正化
 - ② 循環扇の活用による温室内温度の均一化
 - ③ 温度センサーの適切な位置への設置等の対策の実施に努める。

5 穀類の乾燥調製作業の適正な実施

乾燥調製施設の能力に応じた原料の計画的な搬入体制を確立し、施設の効率的な利用に努める。また、高水分原料の搬入を防止する観点から、ほ場毎の収穫適期をきめ細かに予想し、生産者に適期収穫の徹底を図る。

6 農業機械作業を進める上での留意事項

農業機械作業については、運行スケジュールを調整して効率的な作業を実施するとともに、農作業の種類に応じたエンジンの回転速度及び変速位置による作業の励行に努め、必要以上にエンジンの回転速度を上げたり、空運転等を行わないことに努める。